



ゆがあい

ライオンズクラブ国際協会335-B地区広報誌

No. 265

2020.6.30

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION



2019～2020 335-B地区 地区ガバナー スローガン

未来に繋ぐ 汗と笑顔で We Serve

地区ガバナー 田中敏朗





感謝感謝です

地区ガバナー 田中 敏朗

ミラノ国際大会で地区ガバナーを拜命させて頂き早1年が経過しようとしています。本当に早いものです。

各ゾーンでの地区ガバナー公式訪問での全クラブ会長のお顔は忘れられません。皆さんの大歓迎を受け感動でいっぱいでした。

地区ガバナー方針であります「新クラブ結成」「支部結成」「会員増強・維持」を強くお願いした結果、ご理解ご支援を賜り、3つの新クラブ結成、9支部結成、会員増強は約1,000名の数字となりました。LCIFについては皆様からのご協力により寄付額が100万ドルを達成しました。

我が335-B地区は全ての部門で全国1位となり、これは会員の大きな愛と友情の証であり実力です。私は今ここで、地区ガバナーであることを誇りに思っており、心より感謝と御礼を申し上げます。残念なことは、2月より新型コロナウイルスにより活動がままならず、3月は全面会議を中止、例会やアクティビティ等も出来なくなり、4月7日には「緊急事態宣言」が発令され5月25日には解除されるも、地区年次大会や物故ライオンズ慰霊祭等の地区の全ての会合が中止となりました。しかしながら、そのような状況下の中でも、各クラブの皆様はそれぞれマスクや防護服等の寄贈、ZOOMなどのオンラインによる例会や入会式の実施等、今できることを一生懸命に努力して頂きました。特に会員増強活動は、335-B地区の会長はじめメンバーの責任感ではありますが、先頭をきったRC・ZCはじめ地区役員・地区委員の率先垂範の事実がありましたこと、立派でありました。

これより中谷地区ガバナーエレクトが地区ガバナーに就任され、「おもいを伝え 新しい扉をひらこう〜クラブは主人公」を地区ガバナースローガンとして地区とクラブの大発展を目指して活動されることと思います。私も微力ではございますが、地区発展のため全力でサポートする所存です。

メンバーの皆様におかれましては、次年度の中谷地区ガバナーエレクトにこれまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます、御礼のご挨拶と致します。

キャビネット幹事 辻川 孝之



335-B地区の各クラブメンバーの皆様、1年間本当にありがとうございました。

キャビネット幹事としての役目は十分に果たすことが出来ませんでした。田中地区ガバナーのもと会員増強はかなりの成果を挙げることができました。これも、地区役員の皆様、また各クラブメンバーの皆様の多大なご協力によるものと感謝しています。

私自身何もできませんでしたが、皆様に支えられ無事1年を終えることができました。本当にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響は次年度も続くと思いますが、335-B地区各クラブがコロナに打ち勝ち、益々で発展頂く事を期待致しまして、お礼とさせていただきます。

キャビネット会計 杉本 光傑



キャビネット会計の大任を無事に終了できますこと、まずはメンバーの皆様に御礼申し上げます。

田中地区ガバナーは会員増強1,300名の目標を掲げました。ライオンズクラブを強くするとの一念で、精力的にメンバーのお膝元へ会員増強のお願いに参じました。私もお供し、ミラノ国際大会に始まり、地区ガバナー公式訪問、各種委員会、例会訪問など、多くのメンバーと交流しました。私のライオンズライフの大きな財産になることと信じております。

ところが、新型コロナウイルスで状況は一変。活動は大幅に制限され、年次大会も中止。時間だけが過ぎていく中で、田中地区ガバナーの思いがどれだけ実現できたのかを考えると、地団駄を踏むほどの無念を抱えています。

ですが、335-B地区に3つの新クラブ、1,000名を超える仲間が増えました。新メンバーと共に、アフターコロナのライオンズの新しい形を築ければ、我々の蒔いた種は実ったのかなと感じるところです。次年度中谷地区ガバナーと頑張りましょう。

本当に1年間、ありがとうございました。



地区ガバナーエレクト 中谷 豊重

第66回地区年次大会代議員投票において、地区ガバナーエレクトに信任を頂き、心より感謝申し上げます。

今年度、田中地区ガバナーは、会員増強目標1,300名を掲げられ会員増強に尽力されました。その熱意と行動力にはほんとうに頭がさがるおもいであります。これも、「クラブを元気にする。」というおもいによるものであると理解しています。

ところが、ご承知おきのとおり、新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令され、ほとんどのクラブにおいて例会やアクティビティが中止となりました。更に、年次大会も代議員投票以外は中止となり、国際大会も中止となりました。このような事態ははじめてであり、日本のみならず、全世界に甚大な被害を及ぼしました。ライオンズクラブにも甚大な被害がありました。

7月1日から地区ガバナーとしてスタートします。復興のスタートをします。

田中地区ガバナーの「クラブを元気にする。」という「おもい」を引き継ぎ、まずは、各クラブが再スタートし、新型コロナウイルスの被害を最小限に留め、335-B地区の運営を元に戻すと共に、更にクラブを元気にするためコロナ後を見据えた新たなWe Serveに向って邁進する所存です。

一人の力は微力です。メンバー皆様方のご指導、ご協力を賜り、335-B地区を少しでも、マイナスからゼロに、ゼロから「+1」に前進させていくためのお力をお貸し頂くことをお願いし、挨拶とさせていただきます。



次期第1副地区ガバナー 正岡 章

第66回地区年次大会代議員投票におきまして、次期第1副地区ガバナーへの信任を頂き誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染防止対策の都合上通信による開催となり、皆様とお会いすることが出来なかったことは残念でなりません。しかしながら、今後もニューノーマルに向かって地区の運営・クラブの運営も変化していかなければならない情勢となりました。

中谷地区ガバナーエレクトは「おもいを伝え 新しい扉をひらこう～クラブは主人公～」というスローガンを掲げられ、これまでのノーマル(常態)からニューノーマルへの移行にチャレンジしていきます。また、その大前提となります「クラブは主人公」というキーワードはとても重要だと考えております。各クラブのお力があっての地区であり、地区はその助力となるべく全力を尽くすことが使

命だと考え行動して参ります。

環境の許す限り皆様のクラブへ訪問し、共に行動して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



次期第2副地区ガバナー 津田 勝之

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された皆様やご家族の方々、そしてお仕事に多大な影響を受けている皆様方にお見舞い申し上げます。

この度は、第66回地区年次大会代議員投票におきまして、皆様方に次期第2副地区ガバナーの信任を頂いたこと、心より感謝するとともに緊張と責務の重さに私はもとより、所属クラブである大阪桜之宮LCメンバー一同、気の引き締まる思いです。

全国への緊急事態宣言が4月7日に発令され、各クラブの理事会や例会そしてアクティビティも開催できない状況の中に於いても、各地域クラブのリーダーはそれぞれテレワークやリモートワーク、SNSなどを駆使してメンバーとの情報交換や例会、会議などを行われている事を知り、急速な変化への対応力に力づけられ今後のライオンズクラブ活動の変化、変革にリーダーとしての対応力、実行力が必須であると改めて感じ得ました。

日本の準地区に於いて名実とも日本一の335-B地区を作り上げて頂いた先人、先輩ライオンズに感謝し伝統を守り温故知新の精神で時代に即応したライオンズクラブを作れるよう地区ガバナーエレクト、次期第1副地区ガバナー、次期キャビネット構成員の皆様とともに協力し尽力していく所存です。

まだまだ若輩者ですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。We Serve.



1RRC 岡田 信次



新型コロナウイルス感染終息後は、クラブ会長・幹事を中心に家族の安全・健康を最優先に考え、活動困難な、メンバーにはライオンズ活動に復帰出来るまで、メンバー一丸となり助け合いメンバー同士の絆・友愛をより深く築きます。

まずは、クラブ例会に参加する事から始め、この機会に今迄の自クラブの奉仕活動を見直し、奉仕の原点に立ち戻り、メンバー全員で考える時間を作り、地域に今必要な奉仕活動は何かを話し合い、LCIF への協力・GAT 組織の強化・人材育成の強化そして、LCI フォワードをより強く推進して行く事が重要になると考えます。

2RRC 田積 司



感染終息は先行き不透明で、with コロナは避けられないし、終息しても、また新たな危機も訪れるのであるから、after コロナというより、どんな時でも行えるアクティビティが、今求められていると思います。対面での会合等に拘らない Web の活用は当然のこととして、Lions という安心できる主体によるクラウドファンディングや、Local な企業・市民を巻き込んだ対外的活動などが構想でき、そこから人と人とのふれあいによる奉仕の輪を広げていきたいと思いません。

3RRC 西木 宣雄



従前より 335-B 地区でも月 2 回の内 1 回はネット例会というクラブがあったが、今後は若い世代に引き継いでいくには、デジタル化は避けて通れないであろう。また、奉仕活動においてもアフターコロナは「新しい奉仕様式」のスタートの年かもしれない。私の提唱してきた企業を巻き込んだ奉仕活動が CSR(Corporate Social Responsibility) < 企業の社会貢献活動 > の流れで拡大していくことを望みます。会員増強に於いても、支部を含めた企業内ライオンズクラブの出現も併せて期待します。次の世代のライオンズにつなげる為に・・・。

4RRC 吉田 俊朗



コロナウイルスとの共存が続き新しい生活様式を模索している今こそ、ライオンズ活動の見直しのチャンスだと考えます。継続してきた活動の見直しは難しい課題ですが、世の中が大きく動いた時が変身のタイミングだと思います。地域との接点の深い活動に集中し、顔の見える活動を進め、奉仕活動の質を高める、所謂 LCI フォワードの方針に沿って、過去の経緯に拘らず、新しいクラブ運営を目指す起点にしたいと考えています。

5RRC 藤田 一三



ライオンズに出来る事は、今後の第 2 波の流行に備えての注意を即す、用心を怠らないよう知識を広め、啓発活動を行う事だと思います。エボラ、SARS・MARS・コロナウイルスと続いたように、益々人は地球の奥地へと出入りも多くなり、新しい未知の病原菌が出てくるでしょう。コロナウイルスでも免疫の高い人が安全でした。ウイルスへの警戒だけでなく、健康な身体作りが重要です。その事も含め啓発する事が出来ると良いと思います。

6RRC 本川 憲司



今回のウイルス騒動は、過去に経験したことのない一大事であり終息して全てが元に戻るとは思えません。特に生活弱者は、より困窮し貧困の子ども達も、もっと増えるように思います。会員も業種にもよりますが、その影響を必ず受ける人が出てくると思います。一時的な影響の人には、会費免除等の優遇処置を講ずれば対応できますが、恒常的な人には救いようがありません。退会者の増加は、避けられません。それを補うには、会費の安い支部会員、家族会員を増やす以外にありません。また、ドネーションも減少すると思われる。事業の見直しも必要になるでしょう。故に、ふるさと納税を活用して、物品を社協を通して貧困家庭に配布してもらい、会員の負担のない事業も考えていく必要があると思います。



7RRC 清岡 憲二郎



残りの半期を消化不良で終わらす結果となりましたが、この世界的な危機状況の中で、ライオンズクラブはどれほどの活躍、つまり奉仕が出来たのかが、なかなか見えてこないと感じました。クラブごとの奉仕活動は、ライオンズクラブ誌などで、我々メンバーは知りえますが、一般の民間人には全く知られていないのが現状ではないでしょうか。我々の奉仕活動が広く知られていないような状況では、会員増強も難しいのではないかと考えられますし、奉仕に対する賞賛も得られないようでは、会員籍を継続する魅力にも欠けると感じます。今後は、もう少し広報にも力を入れて頂いたらどうでしょうか。

8RRC 原 一成



新型コロナウイルスの感染終息に今だに光が見えてこないで、今後のクラブ運営と事業については頭の痛いところである。
現状を見れば会員増強はとても無理であり、退会者を出さないためにはクラブの運営の簡素化や合理化を考えること、またスポンサーとの意思疎通が必要とされる。

9RRC 江川 弘章



期末の数ヶ月は新型コロナウイルスのおかげで思うように活動できませんでしたが次年度は、楠 GLT コーディネーターに引き継がれましたので、素晴らしい活動をして頂ける事と思います。皆様で協力の程よろしくお願い致します。
1年間ありがとうございました。“感謝”

10RRC 塩地 博昭



10クラブの連帯感を強化することに重点を、ゾーン・チェアパーソン始め、各クラブ会長の理解と協調を頂き感謝しています。会員増強は都市部には順調に達成、町村のクラブは3月～5月の社会情勢で1ターンによる有力な人材が皆無の状況で未達の現状が残念です。一方、TV会議システムの構築実現に感謝です。
通達のZOOMの導入に伴って、各クラブ若手のIT精通メンバーを中心に理解を深め、両システムの活用路を推進します。

11RRC 辻本 正美



今後のライオンズクラブの在り方について「危機の時代を生きる」つまり、感染症という自然界からの「挑戦」に対し、私達がどう「応戦」するかを問われています。「国家」と「個人」の間にある、あらゆる団体を総じて「中間団体」と呼ばれていますがコロナウイルスに対して、国や自治体による給付金や融資と言った公的支援は「公助」と言い、これに対し個人による「自助」が有りますがこれからの社会を考えるうえで、大切なのは、LCのような中間団体による「共助」です。何故大事か3点あります。
1点目は、「個別性」で公的支援は一律にならざるを得ない、状況により必要な「個別のニーズ」に手を差し伸べられるのは中間団体です。2点目は、「即時性」保険所や役所は、手続き等で時間がかかる、中間団体は、地域と近いため即適切なサポートが出来る。3点目は、「相互性」公的支援は、一方通行であり、自助は「自己完結」そして中間団体は、「助け合い」です。
もちろんワクチンや治療薬の早期開発も重要な「応戦」ですがライオンズクラブの一人一人にとっての「応戦」とは、身近な災害予防や感染予防対策を徹底する事であり「正しい情報」と「正しい対処法」を家族や友人と共有し、周囲との繋がりを大事にし、励ましを送り続ける事が何よりの「応戦」です。

12RRC 吉川 武



with コロナの時代において、私たちが今まで当然のことと考えていた認識や考え方、社会全体の価値観などが劇的に変化する。従って、今までのライオン活動の進め方も状況に応じてフレキシブルに、迅速に、そして効率よくなされていくべきであるし、未知の領域である、コロナとの共生に対して臆すること無く、萎縮せず様々な新しい考えをもって対処していくことが大事だと思います。更に、私たちクラブの提案や決断をバックアップし、時には、リードしてくれるキャビネットの強いリーダーシップがクラブ各々円滑且つ確実な活動を遂行していく上で非常に重要になると考えます。



新しい風委員長 藤田 二郎



当委員会が主幹し、2月7日に開催された「長期在籍者感謝の集い」は114名の出席者で行われました。開催日が1ヵ月後ならばコロナ騒動で開催できなかったと思います。当初は感染が高齢者に多いと言われていました。出席者のお元気に驚かされて改めてライオンズクラブの歴史と人材層の厚さを感じました。

「温故知新」クラブには高齢のメンバーがおられるはず、過去の歴史を知っておられる方にお話を聞くのも大切な事ではないでしょうか。

コロナ騒動も少し落ち着いてきましたが「大変な経験をしたね」と笑って言える日が1日でも早く来ることを祈っています。

地区活性化特別委員長 坂口 博文



まず今回、新型コロナ禍において奉仕団体として何をしたのか？また何が出来たのか？と言った事の検証をするべきあるか？と思います。この国難とも言える状況下においてライオンズクラブとして反省すべき点を洗い出し、それを元に今後の組織活動を考える必要があると思います。自由と平和を守る騎手として地域社会に貢献すべき友愛と相互理解に満ち溢れた仲間作りを絶やさず続け、組織としての発想力、発信力、行動力の更なる向上を目的とした335-B地区であることを切望します。

GMT 委員長 西山 あかね



いつの時代においても、すべきことを出来る限りする、言い換えれば、旧来してきたことややり方に拘らず、状況に応じて奉仕活動対象や内容、また会合の持ち方を変えていく、ということに尽きるかと思います。コロナの前と全く同じことを出来る時が来るのを「待つ」というスタンスでは、若手の増強はおろか発展しないと思います。

GLT 委員長 伊藤 嘉宏



今回の新型コロナウイルス感染拡大時に各クラブがそれぞれのクラブの特性を生かして奉仕を実行されました。例えば医療用マスクや防護服、防護用ビニール、消毒用アルコール等を行政組織、医療機関等に提供されました。それがメディアやSNSを通じて社会に発信されました。ライオンズクラブは世界的な奉仕団体として少しは認知されたと思います。これこそがLCIフォワードのサイクルであるサービス(GST)とPR(MC)そして社会認知(GLT)からのメンバー増強(GMT)であると考えます。

これからは、献血奉仕などの従来型の奉仕に加え、緊急事態への対応能力(アラートも含め)が求められていくと考えます。そんな中で自然にLCIフォワードが理解され各クラブの組織がGATチームに内容的に変化をしていけばいいと考えます。

GST 委員長 山下 隆也



今後、同時期しかも短期間に、世界中に拡散するウイルスがあるということ認識し、更なる新型コロナウイルスが来ることも考えながら私達も、ライオンズクラブメンバーとして、今までの活動に加えて少しでも早い段階で、ウイルス感染前の状態に戻すことと今後の、感染予防策を日常化し、今までの生活習慣を見直していく活動をして広げていきたいと思っています。

FWT 委員長 植本 景太郎



この度の、新型コロナ禍による様々な制限がされている中、女性ならではの工夫が多数もたらされ、家族の不安等が軽減されております。各分野の再開が徐々に進み始めましたが、全てが元通りになるのは厳しい状況であり、これまでとは違う「新しい生活様式」自他の健康・安全を守る習慣を身に付けつつ、今回の自粛経験をふまえた今こそ、クラブ内は元より地域のニーズに、心を寄せながらヒアリングを進め、新たに起こり得る有事の時に、制限や被害を最小限に抑えながら「We Serve」を努められるよう、新たなガイドラインでの取り組みが必要になるのではないのでしょうか。

女性・家族会員・支部の必要性を今一度深めて頂き、会員の皆様のご健康・ご発展をお祈り申し上げるとともに、多大なるご協力・ご支援を賜りました事、厚く御礼申し上げます。

LCIF・ライオンズクエスト委員長 高松 順一



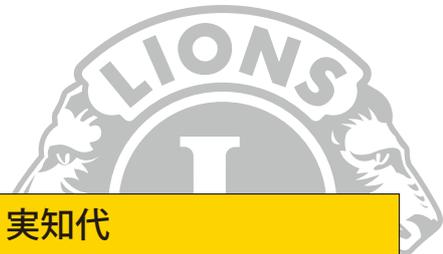
新型コロナウイルス感染症蔓延により、世界の情勢は一瞬にして変わりました。国や地域によって差はあれ、デジタル化は加速し、今後の事業やコミュニケーションの取り方に課題と期待が交錯する。

各クラブの差を埋めるには大きな時間がかかるかと予測されるので、一つ一つが当たり前になるようなシステム(どの世代も比較的簡単に使えるツールの導入)の構築も必要でしょう。また、アクティビティでは各地域のニーズをしっかりと捉え、実行していくことによって原点回帰し、自己満足とならぬようライオンズクラブ本来の目的を明確にしたい。

会則委員長 洞淵 佳英



これからどうなるのか予想もつかないが、一番大事なことはライオンズとしてというより一人の人間として、まず自分が感染しないような努力を最大限継続することではないかと思う。そしてそれを他の人にも喚起する。次におひざ元の自クラブのメンバーで困っている人がいれば、まずその人に救いの手を差し伸べる。闘いは長期戦。将来を見据えて、何をなすべきか？自らの体力の回復も目指しながら、体制を立て直す時間も必要ではと考える。



MC・IT 委員長 渡邊 千芳



以前から課題であったペーパーレス、ゆうあいのネット配信が促進されることと思います。また各委員会は主にオンライン会議での開催になると思います。地区ガバナーをはじめ全てのメンバーがタブレットを持って動き、キャビネット会議など会議の資料はタブレットで見ることになるでしょう。これらのことによりライオンズクラブのメンバーが増えることを祈っています。

YCE 委員長 山崎 実知代



青少年の派遣・受入を委員全員が全力で進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大で3月より活動の自粛、さらに緊急事態宣言により中止となり、世界中が前例のない事態に直面することになりました。先が見えない物との戦いに今まで当たり前の常識だと思っていたことの見直しを迫られているような気がします。派遣・受入を予定していた青少年には残念な気持ちでいっぱいです。一刻も早い世界的な終息と、各国のスムーズな青少年の支援が出来るように願っています。

レオ委員長 稲田 勝利



ここ近年例のない疫病の襲来にともないライオンズクラブにとってもこれからの活動に対して若干見直しが必要になってきました。特に、IT化はこれからクラブ存続に向けての課題となるでしょう。連絡は電話・FAXに代わりメールやSNSを使つての伝達またZOOMなどWEBを使つての例会や会合セミナーは必要になってくるのではないのでしょうか。必要にかられてとなった今回の体験を生かして更なる発展を期待していきたくと思います。

環境保全委員長 上村 明央



新型コロナウイルスの大流行が人々の外出規制を強いた結果、中間層の下層の人達が仕事や収入を失った。そのため貧困人口が増えるだろう。またインターネットによる社会のデジタル化が進みネット環境を利用して仕事ができる富裕層と、そうでない貧困層との格差が広がると思われる。そこで今後のライオンズクラブはクラブ運営の時間や経費を今一度総点検し、無駄を無くし社会の貧困層に対して何が出来るかに焦点を絞った社会奉仕を行うべきだと思う。

アラート委員長 佐々木 健太



- リモートによる会議や例会などを行える環境の整備
- グループラインなどを活用した連絡網の整備
- 様々な場面においての奉仕活動方法を想定する

ライオンズ慰霊委員長 池上 省吾



5月24日、高野山で第45回物故ライオンズ慰霊祭が勤まる予定であったが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で田中地区ガバナーはじめ総勢18名でささやかではありましたが、物故ライオン81名の名前を刻んだ銘板を納めることができました。コロナがなければ、当たり前の法要に終わったが、法要に参加できることは大変ありがたいことであったと気づかせて頂きました。「生かされて 生きるや今日の この命 天地(あめつち)の恩 限りなき恩」 (元京大総長 平澤 興)

国際関係・大会参加委員長 藤田 嘉宣



緊急事態宣言が解除されると、気の緩みと開放感で、第2波が来るのではないかと懸念されます。国際大会という大きな枠での活動は新築の開発がなされるまでは、慎重に考えていかねばならないと思います。

国際大会中止という残念な年ではありましたが、世界が力を合わせて危機に立ち向かわねばならないということを心の底から感じました。全世界がワンチームになって始めて、最高の国際大会が開催できるのだと思います。

年次大会委員長 樽井 義弘



本年度も早や梅雨の鬱陶しい季節になりましたが貴ライオン、貴クラブには益々のご隆盛お慶び申し上げます。年次大会実行委員会も大会に向けて着々と進んで参りましたが世界的大流行の新型コロナウイルスの蔓延で残念ながらすべての行事中止になり各委員会のメンバーには大変申し訳なく思い又ご苦勞お掛けしたこと心よりお礼申し上げます。さて地区ガバナーの最大の目標、メンバーの増員、新クラブ結成など大成功を収めることが出来、一重にメンバー各位のご支援の賜ものと感謝するしだいです。最後にウイルスもまだ終息真中でございます。ご健康で過ごされるようお祈り申し上げます。



第4回キャビネット会議・表彰式・懇親会

地区MC・IT委員長 渡邊 千芳

6月30日、コロナ禍で延期になっていた第4回キャビネット会議がリーガロイヤルホテル大阪で開催されました。

田中地区ガバナー、亀井元国際理事、城阪GATエリアリーダーの挨拶の後、田中地区ガバナーより今年度の地区運営報告をされました。特に1,000人を超える新会員の増加であり、その一助となったのが3つの新クラブと7つの支部ができたことを報告されました。また、世界の活動の原資となるLCIF献金額が100万ドルを超えたと報告されました。

次にコロナ禍で中止になった地区及び複合地区の年次大会議事報告と地区会計報告が承認されました。その後、城阪GATエリアリーダーより日本ライオンズ大学校の設立経緯を報告され、複合地区コーディネーター並びに委員長報告、各リジョン・チェアパーソン、各種委員長の報告がありました。各リジョン・チェアパーソンとも会員増強に苦戦されたこととコロナ禍の中でのアクティビティの取り組みについて報告されました。

最後に年次大会が中止になったので、地区旗引き渡ししが田中地区ガバナーから中谷地区ガバナーエレクトへされ、その後「田中地区ガバナーの思いを引き継ぎながら、ライオンズクラブのPRに力を入れていきたい」と決意表明されました。

地区ガバナー表彰受賞式では、会員増強をはじめアクティビティ等、多くのクラブが受賞されました。懇親会では地区ガバナー、地区ガバナーエレクト、次期第1・第2副地区ガバナーが巡回され、新たな期待を持ち終了しました。



第45回物故ライオンズ慰霊祭 刻銘版奉納

地区MC・IT委員 千丸 剛央



世界的な新型コロナウイルスの影響にて不要不急の外出自粛が呼びかけられ、例年開催される高野山大霊園での物故ライオンズ慰霊祭も今年は中止となりました。5月24日、田中地区ガバナーをはじめ地区ガバナー・エレクト・キャビネット幹事・キャビネット会計・ライオンズ慰霊委員長・他計13名で慰霊碑に向き、刻銘版を奉納致しました。小規模での奉納となりましたが、当日快晴に恵まれ気温も過ごしやすく中止になった事が残念に思われるような五月晴れでした。

81名の物故ライオンのご芳名を奉納させて頂き、在籍中の活動に感謝を申し上げ全ての物故ライオンのご冥福をお祈り致し、最後に来年こそは苦難に負けず厳粛に開催できるように願い、慰霊碑を後にしました。

次世代リーダー育成セミナー

[2年間 次世代リーダー育成セミナーを受講して]

第8期生 中村 聖保 (11R2ZZC)

第8期生として次世代リーダー育成セミナーをこの度無事に卒業させて頂きました。毎回新しい課題に取り組みました事、講師や関係者皆様のご尽力に感謝を申し上げます。

ライオン仲間と意見を出し合いワークショップ形式にて考えをまとめる事は楽しく技も学べ、常に開眼の思いでした。ライオンズクラブに関わらず何処の世界でもリーダーたる者は優れた理解者であり、ブレの無い信念で共に進んでいける事が理想であろうと思います。

世の流れで自身の考えに変化があれば、その思考過程を丁寧に伝え理解して頂く努力をする事も必要でしょう。相互理解を大切に、良き人間関係を築き様々な縁を大事に私も進んでいきたいとセミナー受講の度に感じました。

この2年は特に、クラブ会長、ZCの経験と共に人間関係の重要さも学べ、閉講式にて代表挨拶の場も頂き貴重な体験の連続です。何が大切か原点に戻り試行錯誤して進んでいきます。第9・10期生の皆様も充実の時をお過ごし下さい。

[1年間 次世代リーダー育成セミナーを受講して]

第9期生 秦 大地郎 (キャビネット委員)

『『終身の計は人を樹うるに如くはなし』、人を育て、成果を見るには一生をかけた計画が必要だ』菅元地区ガバナー・名誉顧問の歓迎のお言葉ではじまった、第9期生次世代リーダー育成セミナーは今期3回のセミナーが開催されました。

受講生の自己紹介スピーチやワークショップ、それぞれが自クラブの活動等への想いを付箋紙に書きました。他クラブの活動を知り、いいところを吸収し、また自クラブに伝える。次世代リーダー育成セミナーの意義を感じました。

第3回はコロナウイルス感染症の影響で中止、第4回は第8期生、第9期生合同開催となりました。第8期生の修了式に同席させて頂き、卒業への想いを熱くお聞かせ頂きました。先輩方の想いを引き継ぎ、残りの1年間で真剣に取り組んでいきたいと思っています。

伊藤GLT委員長、楠GLTコーディネーターのもと、このセミナーを受講できましたことを感謝致します。ありがとうございました。



新クラブ結成おめでとうございます！



大阪 CONNECT ライオンズクラブ



地区MC・IT委員 新田 秀幸

【結成会】

3月28日、ANAクラウンプラザホテル大阪にて大阪CONNECTLCの結成式が開催されました。新型コロナウイルスの影響で小規模でしたが、無事に執り行うことができました。

【認証状伝達式】

季節は梅雨だと言うのに、なんて晴れやかな日になったのでしょうか。

6月22日、ANAクラウンプラザホテル大阪にて、会長テーマ「楽しもう！ライオンズライフ！」を雄々しく掲げ、大阪CONNECTライオンズクラブ認証状伝達式が開催されました。地区ガバナーはじめ、多くの来賓を迎え、時節柄を考慮し気持ちは盛大に、粛々と開催されました。

認証状の伝達式というのは、あまり目に掛かれないものであり、何より新クラブが結成され、その結成を国際協会が承認し認証状を伝達して頂くクラブにとって非常に重要な特別の日になるので、山内会長、他メンバーの緊張が会場全体に伝わる非常に良い認証状伝達式になりました。

また、第2部の祝宴は大阪CONNECTライオンズクラブらしい明るく、楽しい祝宴になり今日の良き日を全員で祝い、新型コロナウイルス感染症で世の中に暗いムードが漂う中、非常に晴れの日になりました。

今後益々の大阪CONNECTライオンズの活動に期待を致します。

- 結成年月日：2020年3月28日
- 会員数：24名
- チャーターナイト：2020年6月22日
- スポンサークラブ：335-B地区
- 会長：山内 祥子／幹事：西村 亮一／会計：今津 達夫
- メンバー

石塚 望美／磯和 なつ／今津 達夫／大久保 元気／河崎 利香／小泉 逸朗／桑形 有子／児玉 恵／小玉 隆子
小藤 真優／佐藤 毅史／佐藤 毅史／鈴木 雄家／竹内 登／中野 真弓／西村 亮一／原田 百合子／藤井 剛
真柴 恵美子／三橋 ただし／宮路 曜名／山内 香奈／山内 祥子／梁 武之

大阪若獅子ライオンズクラブ



会長 芳崎 勝大

4月18日、大阪北LCがスポンサーとなり大阪若獅子ライオンズクラブが結成されました。本来であれば、4月18日に結成式を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止させて頂くことになりました。

私は、初代会長を務めるにあたり、会長テーマとして「心を込めて奉仕を」を掲げました。その心は一人一人に心届く奉仕活動を行なって参りたいと思っております。

今後は友愛と相互理解の精神と平和を守り社会奉仕に精進し、皆様方のご指導を仰ぎながら奉仕活動に尽力していく所存です。

クラブ目標といたしまして、夢と希望に満ち、賞讃は惜しみなく、批判は謙虚にと多くの方々に奉仕活動に参加しやすいクラブを目指して活動していきたく思っております。今後とも公認ガイディング・ライオンをはじめ諸先輩ライオンのご指導とご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い致します。

●結成年月日：2020年4月18日

●会 員 数：21名

●チャーターナイト：2020年9月を予定

●スポンサークラブ：大阪北LC

●会 長：芳崎 勝大／幹 事：太田 聖一朗／会 計：野村 泰誠

●メンバー

石田 健悟／市川 真祥／太田 聖一朗／古閑 奈津子／斎藤 英樹／境 昭博／庄司 慶晴／谷本 昌哉

田淵 克己／津崎 高明／野村 泰誠／日高 雅哉／深堀 晃佑／藤原 正実／水野 謙志／宮林 正人／森 太一

森田 鉄夫／山喜 良彦／芳崎 勝大／葭矢 圭耶

支部結成おめでとうございます！



大阪港 LC「かもめ支部」

結成日：2020年3月18日

結成時会員数：7名

大阪港LCかもめ支部は3月22日結成しました。男女混合の7名です。

3月に支部結成式を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大で次年度8月に延期になりました。結成式開催後、改めてご紹介させていただきます。

大阪東住吉平野 LC「はちどりの水支部」

結成日：2020年3月22日

結成時会員数：5名

3月22日、大阪東住吉平野LCはちどりの水支部が結成されてから4月に予定していた結成式も中止し、なかなか活動が進んでおりませんでした。しかし、6月14日、支部の方々とやっと打ち合わせすることができました。自粛が続く中、久々の会合でした。

はちどりの水支部の支部長L阪井和夫(写真中央)ですが、盲目のシンガーソングライター、特に難民の子どもたちのためにチャリティーコンサートなどを実施しています。はちどりの水支部としても、奉仕するアクティビティを今後計画していきます。大阪東住吉平野LCの佐野会長の活動方針にもあるのですが、新しい奉仕の形として取り組もうとしています。

リアルなチャリティーコンサートがなかなかできないので、ネットによるコンサートを計画しようとしています。皆様方にも今後は広くお伝えしていきたいと存じます。



堺泉北 LC「ソウソウ支部」

結成日：2020年4月23日

結成時会員数：5名

[支部会員入会式]

5月28日、堺泉北LCソウソウ支部の入会式お披露目会として、メンバー紹介、ラベルピン及び花束の贈呈が行なわれました。これまで、新型コロナウイルス拡大防止のため、例会を自粛していましたが、緊急事態宣言が解かれたので、アルコール消毒、マスク、隣の人との接触を避けるためにスクール形式で久々の開催となりました。

4月23日に当クラブ2つ目の支部、ソウソウ支部が結成されていましたが、結成式もできないままでしたので、やっとメンバーの皆様にご紹介することができました。

[アクティビティ]

4月18日、ソウソウ支部がイオン北花田で献血奉仕をしました。雨にもコロナにも負けません。50名以上の方々に献血のご協力頂きました。時節柄ご協力頂きました皆様に感謝です。



和泉大阪 LC 「HONU（ホヌ）支部」

結成日：2020年6月6日

結成時会員数：5名

6月6日、和泉大阪LC HONU支部が結成されました。

ウミガメのことをハワイ語で"HONU" (ホヌ) といい、ハワイを含むポリネシア文化圏ではとても神聖な生き物とされていて、神様からの使い・幸運を運んでくれる「海の守り神」などとして大切にされてきました。

昔、海辺で遊んでいる子ども達がサメに襲われる事がたくさんあったそうです。「神の使いとされているホヌは子どもの姿に化けて身代わりになり、子ども達を救った。」という昔話があるそうです。また、サーファーをサメから守ったという伝説もあり、サーファーの守り神としても愛され続けています。ホヌ支部は、沢山の皆様に喜ばれる奉仕活動をし、地域からホヌのように愛される事を目指します。

この度元メンバーが支部長として復帰となりましたので、大いに盛り上げていってまいります。



大阪大和川 LC はやぶさ支部

支部連絡員 大塚 正和

結成日：2020年6月23日

結成時会員数：5名

田中地区ガバナーの積極的な取り組みとアドバイスにより支部を結成しました。

我がクラブは会員数の減少と高齢化で、如何にクラブを維持していくかと、毎年悩んでいたところでございました。

そこで、我がクラブのアクティビティ、更にゾーンのアクティビティ等で、若い力が必要な時、いつもお手伝って頂いていたボーイスカウト大阪第120団にお声かけしたところ、快くご了解頂き、あっという間に支部を結成することができました。

ボーイスカウトとライオンズクラブの奉仕活動精神は共通しております。スカウトの3つの誓いの中に「いつも他の人々を助けます。」があります。

この精神はライオンズクラブの「We Serve」と同じです。

我がクラブが若い支部のメンバーと共に、より良い奉仕を企画・実行ができることを期待し、新支部のメンバーの皆様が自分のスカウト活動の目的である「未来ある青少年の幸せのために」のお手伝いになればと思います。

お互いがより善き活動のために、よかったと思うように協力して頑張っていきたいと思っております。どうかこれからの支部のメンバーに皆様の暖かいご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



CN 周年記念アクティビティ



池田 LC CN60 周年

【池田市立池田病院へフェイスシールド寄贈】

5月1日、池田市役所 応接室にて CN60 周年事業「新型コロナウイルス対策支援事業」として、池田市立池田病院からの要請を受け、現在不足しがちな医療用品のうち、フェイスシールド 1,000 枚を寄贈しました。



【記念植樹】

5月21日、池田市立学校給食センター完成に伴い池田市教育委員会へ記念植樹を行いました。



大阪西 LC CN60 周年

大阪西 LC は家族滞在型療養施設『チャイルド・ケモ・ハウス』が今後とも『小児がん患者とその家族にとって理想の病院』の役割を果たし続けていけるように、開業 5 年を超えて老朽化しつつある『チャイルド・ケモ・ハウス』の設備・備品の更新を金銭的に支援しました。その支援のために神戸ウエストライオンズクラブと一緒に LCIF の人道支援マッチング交付金を申請しました。



| | |
|--------------------|------------|
| 大阪西 LC CN60 記念事業資金 | ¥1,608,951 |
| 神戸ウエスト LC | ¥200,000 |
| LCIF 人道支援マッチング交付金 | ¥1,790,000 |
| 支援金合計 | ¥3,598,951 |

この支援を記念して『チャイルド・ケモ・ハウス』の一室が『ライオンズ・ルーム』と命名されました。



松原 LC 創立 55 周年

松原 LC は、2020 年 4 月 10 日をもちまして、創立 55 周年という大きな節目を迎えることになりました。5 月 21 日には記念式典の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、苦渋の決断にて中止とさせて頂きました。

式典は開催することができませんでしたが、今できる奉仕は何かを考え、CN55周年記念事業に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不足が続いているマスク等の寄贈を追加いたしました。まず初めにサージカルマスク、N-95マスクを松原市内医療機関で勤務されている医療従事者の皆様へ感謝と応援の気持ちを込めて寄贈いたしました。その際、医療用ガウンの不足が深刻であることを聞き、医療用ガウンと両腕用カバーチューブを追加で寄贈致しました。

※両腕カバー用チューブ：府から寄付されたポンチョ（雨具）には袖部がないため、両腕の防具として使用。

【寄贈先】

松原市、明治橋病院、阪南中央病院、徳洲会病院、社会福祉法人 政和福祉会
社会福祉法人 まつのみ福祉会

【内容】

サージカルマスク 9,500 枚、医療用ガウン 500 枚





南部 LC 結成 50 周年

南部 LC の結成 50 周年を迎えるにあたり、マンネリ、形骸化した事業を改め、真の奉仕活動として地域への恩返しの一環として、普段コンサートやディナーに接する機会が少ないであろう地域の障がい者の方々に、楽しくそして笑顔で最高の一夜を満喫して頂きたいとの思いから、一般公募の障がい者の方と付き添いの方 200 名を、無料でご招待してのディナーコンサートを開催しました。

みなべ町ふるさと大使で全国的人気のシンガーソングライター川島ケイジさんらをお迎えし、音楽と洋食のディナーをたっぷり楽しんで頂きました。そして、メンバー全員が蝶ネクタイに身を包み、給仕（きゅうじ）係として We Serve を演出、その真摯な接客は笑顔で人と人を繋ぎ「最高の一夜」を演出できたと思います。

また、この事業に合わせて、障がい者福祉施設に送迎用の 10 人乗り車両を寄贈しました。



御坊中央 LC CN40 周年

1980年3月9日、市立体育館でCN式典を行ってから40年。当時335-B地区で最も平均年齢（41歳）が若いクラブとして注目されました。

クラブの一環したテーマは「地域社会に密着した奉仕」。継続は力のおり、貫き通して着実に地域住民に信頼され親しまれるクラブとして成長してきました。本年度の最大の記念事業は、地域の未来を担う子ども達との、神戸市「人と未来防災センター」へのバスツアーでした。突然の新型コロナ肺炎で記念式典中止を余儀なくされましたが、来るCN50周年へ、地域の明日づくりへ、メンバー一丸となって奉仕事業を積み重ねる所存です。



和泉中央 LC CN40 周年

1980年4月27日、和泉大阪 LC のスポンサーにより誕生してから、今年度 40 周年を迎えることができました。そのような大きな節目の年に、更なる地域貢献、またより多くの人に我々の素晴らしい街「和泉市」を知って頂く方法を模索し、市役所に相談した結果、和泉中央シティプラザの入り口前に、和泉市のキャラクター「コダイ君」「ロマンちゃん」を彫刻した石造りのベンチを寄贈することに致しました。またそれと共に、啓発運動やPR活動等様々なのぼり旗を立てる台座も寄贈させて頂きました。和泉市のキャラクターをあしらうことにより、シティプラザを訪れる方に、SNSで発信して頂き、今まで以上に和泉市をアピールして頂ければと願っております。

今後も、メンバーの和を第一に、一丸となって地域に密着したアクティビティを実施していきたいと考えております。



CN 周年記念事業アクティビティ

大阪梅田中央 LC CN40 周年



会長 益田 大志

[姉妹クラブ 大村中央 LC との合同記念アクティビティ]

姉妹提携クラブ 大村中央ライオンズクラブとは姉妹締結をして30周年になります。姉妹提携クラブの友情の証として5年に1度、合同で周年記念事業をしております。

今回は、昨年10月に長崎県大村市にオープンした長崎県立・大村市立一体型図書館 通称「ミライオン図書館」に「ホールクロック」を寄贈しました。図書館のシンボルとして、また来館された方々にとって奏でる音色が癒しとなるよう願っております。

新型コロナウイルスの影響で贈呈式当日には参加できませんでしたが、6月16日に大村中央ライオンズクラブCN40周年記念例会終了後、相田第1副会長のご案内のもと「ミライオン図書館」で、園田裕史・大村市長に姉妹提携の経緯や今回の事業についてお話しをさせていただきました。



[東日本大震災 東北支援]

東日本大震災復興支援で交流のある気仙沼ライオンズクラブを通じ、気仙沼市立条南（じょうなん）中学校の学校備品購入のための支援金を寄贈しました。

条南中学校は震災で津波の被害をうけ、震災後は避難所となりました。被災地では「住まい」と「経済」が優先的に復興されてきましたが、学校や公園など公共的なものは予算もなく、また新型コロナウイルスの影響も受け、教育への支援も後回しになっており課題となっております。

今回の支援金で条南中学校では、未来ある生徒のためにICT教育の一環としてプロジェクターを購入されました。6月19日には、気仙沼ライオンズクラブの斎藤光弘会長とL 菅野正浩とともに、条南中学校で寄贈したプロジェクターを使った授業も見学させていただきました。その後、支援贈呈式がとり行なわれ、両クラブから支援金を贈呈したあと、宮崎明雄学校長や生徒会の皆さんから暖かい感謝の言葉と感謝状を頂きました。



吹田江坂 LC CN25 周年

吹田江坂 LC CN25 周年記念事業として、フードロス対策事業・児童養護施設への支援事業・台風 19 号の被災地への支援を行いました。後半は新型コロナウイルスの影響で活動が制限されたものの、こういう時こそ！との思いで、335-B 地区内各クラブへのマスクのお裾分けや、メンバーの周囲への次亜塩素酸水配布に取り組みました。運営面におきましては LINE やメールを利用した理事会と例会にも挑戦し、会食費を利用して、お米やおいしい食品をメンバー宅にお届けしたりもしました。日頃みんなでワイワイやるのが特徴の吹田江坂 LC なので、寂しさは頂点に達しましたが、その分助け合いの精神やクラブ運営のあり方について気づき学び充実した 1 年となりました。



その他の周年クラブ

- 【大阪中部 LC CN57 周年】 大阪市西防犯協会へ「街頭防犯カメラ基」寄贈、ミャンマー国へ「マングローブ植林」援助。
- 【貝塚 LC CN57 周年】 チャリティーゴルフでの収益金 50 万円は津田認定こども園へ備品などの物品を寄贈。
- 【大阪福島 LC CN56 周年】 福島区内「子ども食堂」2ヶ所に各 20 万円備品購入の援助、福島区内キッズサロンに絵本寄贈、チャリティーオークションの売り上げを「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」に寄付。
- 【泉南中央 LC CN51 周年】 奥村幸治氏を講師として泉南スポーツ少年団野球教室を」開催。
- 【泉佐野中央 LC CN51 周年】 2019 年 12 月に泉佐野市にオープンしました関空アイスアリーナへコンテナ寄贈。教育委員会協力のもと、ヘアドネーションを実施し、ジャーダックへ寄附。その他、岸和田学園へ寄付金・コロナ寄付金として泉佐野市・熊取町・田尻町へ寄付
- 【大阪戎橋いとはん LC CN48 周年】 2 月 29 日「中央区子供の居場所連絡会（子ども食堂）支援チャリティーコンサート」開催。
- 【大阪東淀 LC CN46 周年】 「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」に 50 万円寄付。
- 【岸和田千亀利 LC CN46 周年】 2 月 20 日に記念例会を開催し、岸和田市の教育、福祉関係にアクティビティを実施。

新会員紹介 —ご入会おめでとうございます!!—



5R1Z

池田 LC



L 中西 考一

ライオンズクラブの事は、何もわかりませんが、これからよろしく願い致します。

スポンサーより

新型コロナウイルスの影響で例会が延期となり入会式が遅れましたが、6月例会で入会式が出来ました。頑張ってください。

9R1Z

和歌山 LC



L 辻岡 直樹

歴史ある本会の一員になれたこと、大変光栄に存じます。仕事は建築設計を営んでおりまして、職業関連以外の団体に初めて参加させて頂くこととなります。様々な職種、年代の方々とご一緒させて頂き地域活動に参加できることを楽しみにしております。

スポンサー：L 山本 芳久 (岩出 LC)

去年7月から地区委員の1人として、誰か入会と考えていたところ、私の甥にあたるL 辻岡に声をかけました。私が19歳の時に生まれ、この地で仕事をしている以上、48歳にして「世のため、人のため」です。私の父もライオンで孫のL 辻岡にも少しはそのマインドが伝わっていたのか、例会見学はすんぽん快諾。丁度「けんかつ支部結成式」の時で、見学が入会確約の場となり、テンションが上がり申込書にサインすることになりました。最高のタイミングで、田中地区ガバナーもご臨席されており、バッジも頂き皆の喜びとなりました。帰りにL 辻岡に一言「とにかく出席しろ。そうすれば、すべて大事にしてくれる。楽しくなってくるから」。皆様次世代のライオンをよろしく願い致します。

9R1Z

和歌山伏虎 LC



L 西村 旅児

いろいろな人にお話を聞くのが好きなので、いっぱい聞いていっぱい勉強したいです。そしてライオンズの活動において社会貢献というものを学び、感じ、身についたことが更に社会に役立てる事ができたらいいなと思っています。

スポンサー：L 細谷 泰寛

以前より新会員とは仕事上で取引があり、ライオンズクラブのお話はさせて頂いておりました。奉仕活動や例会を通じて、様々な業種の方と交流もできる為、例会訪問して頂き推薦致しました。

9R1Z

和歌山伏虎 LC



L 高橋 秀卓

これまで、ライオンズクラブという団体があることは知ってはいましたが、具体的にどのような活動を行っているかは知りませんでした。しかし、例会に参加させて頂き、実際に、メンバーの方が非常に熱心に活動をされていることを聞き、私もその一翼を担いたいと考え入会させて頂きました。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

スポンサー：L 太田 勉

今年度作成したクラブのパンフレットを使い、ライオンズクラブの奉仕活動や例会等の説明を行いました。クラブの事を知ってもらった上で、例会に訪問して頂き推薦させて頂きました。

9R1Z

和歌山中央 LC



L 木下 京美

L 小池に導かれて入会させて頂きました。亡き父のご縁で数年前より公私共にL 小池には本当に優しいお気遣いを頂いており大変感謝しております。入会の推薦を頂き内心は不安でしたが、会員の皆様は博識な上に温かいお人柄で、何も知らない私にも優しくご指導下さいます。このご縁を大切に、皆様と共に We Serve の精神で精進させて頂きます。

スポンサー：L 小池 秀和

私が新会員を勧誘するにあたり、特に強調したのは次の点です。当クラブは『狭いながらも楽しい我が家』の延長で会員相互の友愛が勝れています。紅一点の女性会員の存在が例会の空気感をほのぼのと家庭的な雰囲気を醸し出していますので、女性同志の出逢は互いに幸運が幸運を呼び寄せます。『仲の良きこと美しきかな』です。当会に入会することで、今後の活動や交流の範囲が更に広がる事を熱く語り入会の快諾を頂きました。

9R1Z

和歌山ゴールド LC



L 高垣 英紀

仕事でお世話になっている竹林様からのご紹介で入会させて頂くことになりました。このご縁を大切に、先輩方からたくさんのお話を学び、クラブの盛り上がりの一助となるよう活動に参加していきたいと思っております。

スポンサー：L 竹林 靖之

会社の税務をお願いしている税理士さんです。当社の忘年会で多数の当クラブメンバーと意気投合し入会に至りました。

新会員紹介 ーご入会おめでとうございます!!ー



9R2Z

那賀 LC



L 山田 哲也

入会して間もなく肝臓病が発覚し現在は自宅療養している最中であります。例会に出席し、皆様と友愛の精神を築き上げたいと念願致しております。病が癒えた際には精一杯ライオンズ精神をもって地域社会に尽くして参りたいと考えております。

スポンサー：L 大西 勝

昨年より付き合うようになって親しく食事会等をする様になり、ライオンズクラブの成り立ちや、現在の活動を話し「世界に冠たるライオンズクラブに入会して世界、社会に貢献して、自分磨きを共にしてゆきませんか」と話し入会をして頂きました。

9R2Z

和歌山くろしお LC



L 中西 正人

「ボランティア活動に興味がないか?いろいろな世代の人がいて、いろんな話ができて面白いと思う。中西君にとってもすごい経験になり為になると思うよ。」
そう言われ、今度新年会に行くこととなりました。新年会に行ってみると、私が思ったよりも幅広い年齢の人がいていろんな話が聞けて興味がわいてきました。ここで活動に携われば私にとって有意義な時間が増えるのではないかと入会しようと思えました。今まで、奉仕活動に携わる機会がなく、何をしたいのかもわかりませんが先輩方から少しずつ勉強していきたいです。

誰かの為に奉仕することにより、私の人生がやりがいのある物になれば、少しでも誰かの役に立てたらと思います。

スポンサー：L 滝上 和男

私自体、一日一善を目標にしています。しかし、なかなかできていないのが現状です。奉仕活動と一緒に一日一善を目標に頑張りませんか?と声を掛けました。

10R1Z

白浜南 LC



L 中村 茂男

入会のきっかけは、尊敬する経営者の方々がライオンズクラブにて精力的に活動し、その中で多くのことを学ばれていることを教えて頂いたからです。また、毎日に業務を通しての社会貢献に限らず、一人の人として社会に奉仕することで人間として成長したいと考え入会しました。

人生の諸先輩方に学ぶと同時に、少しでも私からも吸収して頂けることがあるよう頑張っ参ります。

スポンサー：L 笹野 浩平

生涯の友人なので、もっと同じ時間を共有しましょう。

10R1Z

御坊中央 LC



L 川口 勝正

いろんな方からご紹介を頂いて入会させて頂きました。ライオンズクラブがどのような活動をしているのかさえもわからない状態ですが、皆様に教えてもらいながら少しずつ勉強していきたいと思えます。

スポンサー：L 谷口 邦弘

新会員とは以前より仕事上の取引があり、若い彼に入会を勧め入って頂くよう推薦させて頂きました。年代を超えて、良き仲間ができる事を伝えました。

10R1Z

御坊中央 LC



L 野中 正人

40周年という節目の年に入会させて頂き、改めて御坊中央LCの歴史と伝統を感じております。諸先輩方の長年のご活躍に敬意を表すると共に、これからの自分に何ができるのか自問自答し身の引き締まる思いです。奉仕という事に関して何もわからない私ですが、皆様のご指導の下、少しずつですが頑張っていきたいと思えます。

10R2Z

串本 LC



L 岡野 栄治

今はまだ何もわかりませんが、先輩方のご指導の下、社会活動に微力ですが頑張りたいと思っています。

スポンサー：L 小森 正剛

仕事関係以外の人々との交流ができることや、また彼の義父が以前他クラブの会員だったこともあり、入会を勧めました。

335-B 地区 「LCIF 大災害緊急交付金でマスク 20 万枚を支援

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)は新型コロナウイルス感染症流行対策への支援として、日本ライオンズに対し大災害緊急交付金10万ドルを交付しました。これを受けて新型コロナウイルス感染対策緊急支援委員会が編成され、交付金を活用して不足が深刻な問題となっているマスクを調達し、配布することが決まりました。

LCIF大災害緊急交付金は、一般社団法人日本ライオンズとして中国ライオンズの協力によりマスク20万枚を入手する調整が完了したことから、交付が決まったものです。

335-B地区は、一般社団法人日本ライオンズより、30,000枚のマスクが送付され、それぞれ下記にて寄贈致しました。



4月28日、には大阪府庁にマスク2万枚の目録をお届けし
大阪府中部広域防災拠点にお届けされるようお願いしてきました!

5月15日、和歌山県医師会へ5,000枚、和歌山県歯科医師会へ
5,000枚マスク贈呈式を行いました。



クラブアクティビティ

大阪天満 LC

4月14日、松井大阪市長の呼びかけ「新型コロナウイルスの感染拡大で大阪の医療現場に防護服が不足している。余っている雨がっぱの提供をお願いします。」のメッセージに対し即日、メンバー間のグループLINE上で「当クラブの有在庫“雨がっぱを寄付”しましょう!」の会話、その可否を投票し、GO!の可決により、翌々日の4月16日には実行し送付しました。



大阪みおつくし LC

4月20日～27日、新型コロナウイルス対策事業として、交流がある児童養護施設へ手作りマスクを送付しました。家族会員の申し出にもとづき、手作りマスクを60枚作製し、児童養護施設「清心寮」へ送りました。この児童養護施設とは毎年年末に餅つき大会の助成・参加を通して交流を実施しています。児童・生徒42名・幼児6名が入所している施設です。

大阪北 LC

大阪北LCは十三市民病院が「新型コロナウイルス感染症」中等症患者を専門的に受け入れることに伴い医療従事者、その家族への暴言や差別的な扱いがされていることを報道で知りました。地元の十三市民病院とは以前より小児科入院病棟に物品を寄贈したり、糖尿病セミナーの講師を依頼するなどの繋がりがありましたが、職員の方々が多忙で食事の時間も取れず買いに行く時間さえもないことを知って、カップ麺を寄贈することにしました。

しかし、買いだめの影響もあり多量のカップ麺の入手が困難であったため、地元淀川区に本社がある「日清食品(株)」に相談したところ、600食のカップヌードルを寄贈して頂けることになりました。

この活動が朝日放送テレビの番組「おはようコール」でも取り上げられ、誹謗・中傷をする心無い人がいるものの、多くの方が医療従事者の方々に感謝・応援していることを伝えることができました。



大阪ピース LC

5月7日、大阪ピースLCは7日、地域の中核病院である大阪市立総合医療センターに対してマスク1万枚を寄付しました。当日は家族会員を含むクラブメンバー12名に加え、田中地区ガバナー、公認ガイディング・ライオンのL坂口・L西尾、大阪桜之宮LCのL直本もご参加頂きました。

大阪ピースLCは献血への協力ができない中、新型コロナウイルスの感染拡大で市街での呼びかけができなくなったため、何かできることはないかとクラブで話し合い、マスクが不足している医療機関にマスクを寄付することにしました。5月7日の産経ニュースの記事に掲載されました。

(<https://www.sankei.com/life/news/200507/lif2005070019-n1.html>)



大阪生野 LC

大阪生野LCは4月・5月にコロナ対策として下記の事業を致しました!!



①4月7日 大阪市生野区役所へ
マスク10,000枚 寄贈



②4月22日 大阪市生野区役所へ
医療用ゴーグル350個 寄贈



③5月22日 大阪市生野区役所へ
フェイスガード3,000枚 寄贈

大阪鶴見 LC

5月の中項、当クラブL原田よりコロナウイルス感染防止用フェイスガードを寄贈したいと申し出がありました。この商品は、メンバーの会社で開発した抗菌剤入りインクが塗布されており高級品ですが、1,000個程度なら無償でお渡しするとの事でどうすれば良いかと相談がありました。 コロナウイルスもやや下火となりかけていますが、まだまだ不足しているのではと考え、地元鶴見区の医師会や歯科医師会に声を掛けるところ「頂けるなら大変ありがたいとの申し出があり、早速5月25日に鶴見区歯科医師会に100個、5月27日に鶴見区医師会に600個贈呈させて頂き、大変喜んで頂きました。

鶴見区医師会には医師会会長の高山先生も同席され、大阪鶴見LCからは、井上会長、安間第1副会長そしてフェイスガード提供のL原田の3人が鶴見区医師会館にて贈呈式を行い、記念写真を撮って終了しました。



大阪マーガレット LC

大阪マーガレットLCは河内長野キッズステーションの再開に伴い、マスク2枚組を100セット寄贈させて頂きました。また、今月の最終献血(於:御堂筋献血ルーム CROSS CAFE)では、献血ご協力頂いた皆様に何時ものレトルトカレー2パックとマスク2枚組を100セット、献血センター様へマスク50セット寄贈させて頂きました。

新型コロナウイルス感染予防にお役に立てて頂ければ幸いです。



豊中千里 LC

豊中千里LCでは、FAXとLINEを使用した通信例会を行なった3月～5月の会食費を財源に、5月1日、豊中市へ『N99医療用マスク』3千枚を寄贈しました。

豊中市より感染症指定医療機関等へ配布されました。



クラブアクティビティ

摂津 LC

摂津LCは新型コロナウイルスの影響で、例会や奉仕事業などで思うような活動が行えない状況が続いていた。5月末に企画していた摂津市の低学年児童を対象としたサッカー大会「ライオンズ杯」も、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となり、悔しい思いが募る日々だった。

そんな中でもクラブで何か出来る奉仕活動はないかと模索していたところ、クラブ・メンバーからマスクの大量確保が可能だという情報が入った。市場にマスクが少しずつ供給され始めたタイミングであったものの、小中学校の再開や学童保育の現状を見据えると、現場ではまだまだ必要だろうと考えた。会長以下の素早い決断で、すぐさま5000枚のサージカルマスクを確保。提供先を協議した結果、摂津市に寄贈し、そこから必要なところへ配分して頂くのがよい、ということになった。即座に森山一正摂津市長に支援を申し出たところ、大変喜んでくださった。そして去る5月14日、摂津市長を表敬訪問し目録を贈呈した。早速、森山市長が当クラブからのマスク寄付と贈呈時の写真をブログに掲載してください、市民の皆様にも認知されることとなった。

本来ならば5月はサッカー大会・ライオンズ杯を開催し、摂津市の子育て世帯にライオンズクラブの活動をアピールする予定だった。しかしこの度マスクを寄付したことで、ウイルスとの戦いの中でもライオンズクラブが活動していることを知って頂く機会になったのではないだろうか。クラブ・メンバー同士も会えない日々が続く中で、一刻も早い収束への願いを込めた活動となった。



茨木ハーモニー LC

茨木ハーモニーLCは、新型コロナウイルスの蔓延で、3月・4月は休眠状態でしたが、不足していたマスクが手に入り、急遽4月24日 緊急支援対策として、サージカルマスク2,000枚、茨木すみれ支部より1,000枚の合計3,000枚を茨木市医師会へ寄贈しました。

最前線に対応されている沢山の医療従事者の方々へ、心からの尊敬と感謝を込めて。

ワクチンの開発と収束を心から願っています。



堺 LC

マスクの品薄状況が続く中、当クラブでは独自のルートによりマスク5,000枚を購入することが出来ました。これを有効活用すべく検討した結果、日頃より共に活動している大阪府赤十字血液センター南大阪事務所に使途はお任せで寄贈しました。



堺 LC

堺LCは、外出自粛要請が発せられている現状に於いて親子が自宅で学び、楽しめる物として、ゴールデンウィーク前に、堺市立図書館の電子図書館「堺ライオンズクラブコレクション」を開設し蔵書を拡充しました。このアクティビティは堺市長の定例記者会見で発表されました。



[バレーボールチームへ記念ボールを寄贈]

堺LCは、オリンピックメダリスト竹下佳江さんをお招きしての「竹下佳江杯2020小学生バレーボール大会」を開催予定でしたが、中止とさせて頂きました。大会の代わりに参加チームである「若松台VBL」「東百舌鳥子供バレーボール部」「三国ヶ丘フレンズ」「庭代御池バレーボールクラブ」の4チームに記念ボールを寄贈しました。

泉大津 LC

新型コロナウイルスの感染拡大により、3月以降に行われる予定だった通常のアクティビティも開催できなくなり、泉大津LCとして、地域に何か奉仕活動できないか検討した結果、当時はマスクの流通量が絶対的に不足しており、市立病院・高齢介護施設などの医療施設・福祉施設での感染爆発（クラスター）が報道されていましたので、感染防止対策に役立ててほしいとの思いから、4月28日付けで不織布製マスク1万枚を泉大津市役所へ寄贈しました。

和歌山ゴールド LC

和歌山ゴールドLCは、今期、メッサオークワ・ガーデンパーク和歌山店での献血の呼び込みとしてマスクを配布しています。今年度初めに1年分のマスクを購入していたので、3月の献血時に献血のお礼としてマスクを渡すと、献血した方々に喜んで頂きました。



有田 LC

4月28日、有田LCは有田川町役場へマスク14,000枚を寄贈しました。



【献血アクティビティ】

有田LCは献血アクティビティの協賛を複数個所に実施しました。労力奉仕はできませんでしたが、毎回粗品を現地へお届けしておりました。

- 2月～6月 市町村献血へ協賛、
- 2月：有田川町デリシャス広岡吉備店前、
- 3月：湯浅町紀陽銀行前、
- 6月：広川町役場前、有田川町（株）和歌山アイコム、JAありだ金屋支所前

岩出 LC

新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛の中で、実施されているマスクや防護服の寄贈、子ども食堂の開催等考えておりましたが、いろんなことが出来なくなりましたので簡単ではありますが、学童の子どもたち180人に今までよりちょっと豪華なおやつをプレゼント致しました。



【献血アクティビティ】

3月～5月にかけて近畿大学和歌山キャンパスでの献血奉仕が中止になりましたが 3月・4月・5月と続けてミレニアシティ岩出で献血奉仕を行いました。3月はテレビや新聞での献血のお願い等もあり、今までの最高の受付人数の81名でした。

5月はたくさんの方が協力に来てくださったのですが献血車の中がソーシャルディスタンスということで3人しか献血ができないので69名の受付け者数でした。せっかく来てくださったのに時間の都合で帰ってしまった方がいたのはとても残念でした。



クラブアクティビティ

田辺 LC

田辺LCは、3月20日に里親支援イベント「紀南で暮らす～子どもたちに寄り添うために 今 大人ができること～」を開催する予定でしたが、延期としていた6月21日も中止となりました。そのため、子どもたちに寄り添うために大人たちができることを広く周知し、多くの方と情報共有をするために、一般参加型イベントの開催を企画しました。しかし、現状のコロナ禍において広い会場に多くの方に集まって頂くことは困難です。従って、1か所に人が集まらずに周知と情報共有できる機会としてfacebookページでのイベント「紀南で暮らす～子どもたちに寄り添うために 今 大人ができること～」を開催しました。

本来会場にてご参加頂く予定であった皆様の情報をfacebookページにて公開し、どこからでも見て頂けるように致しました。



柏原 LC

柏原LCは、除菌水(次亜塩素酸(微酸性水)生成装置5台及び原液パック15組(総額:2,091,100円)を柏原市に寄贈しました。市内の様々な公共施設で活用して頂きます。



八尾菊花 LC

八尾菊花LCは八尾市危機管理課へマスク1万枚を寄贈、大阪府赤十字血液センターへマスク8千枚を寄贈しました。



松原 LC

新型コロナウイルス感染症の影響で献血協力者の深刻な減少が続いており、5月の近畿2府4県における献血協力者数は10日の時点で、必要数に対して420人分を確保できておらず、この状況が続くと医療機関への安定的な輸血用血液の供給に支障を来す恐れがあるということでした(日本赤十字社 大阪府赤十字血液センターHPより)。

5月24日、必要とされる方に血液が届けられるよう、少しでも多くの方に献血して頂くために、近鉄河内天美駅前にて献血アクティビティを実施致しました。

採血者数 400ml 134名 200ml 6名 合計140名



富田林 LC

新型コロナウイルスで緊急事態宣言が長引き 例会・理事会がなかなか開催出来ない折、富田林LCでは、山田会長がコロナ感染拡大初期に中国大連LC宛に支援物資として送ったマスクのお礼として 大連LCより10,000枚のマスクが送られて来ました。富田林LCはそのマスクを必要とされている所にいち早くお届けするために5月12日、富田林市役所に贈呈させて頂きました。

吉村富田林市長からも早速、高齢者や介護施設、教育現場等必要とされている方々に配布させて頂きたいと感謝のお言葉を戴きました。

富田林LCは今後も今、出来る支援を探し協力していきたいと思います。

富田林LCより中国大連LC宛に支援物資として送ったマスクのお礼として、大連LCより10,000枚のマスクが送られて来ました。富田林LCは、そのマスクを必要とされている所にいち早くお届けするために5月12日、富田林市役所に贈呈させて頂きました。



藤井寺 LC

藤井寺市にマスク 4000 枚寄贈と 30 万円を寄付致しました。



南大阪みささぎ LC

南大阪みささぎLCは新型コロナウイルス感染防止で自粛の中、日本赤十字様より依頼があり、3月25日・4月21日・5月20日と3か月連続で献血奉仕活動を行いました。待合の椅子の間隔を広げ、アルコール消毒後検温しての献血ですが、たくさんの方のご協力を頂きました。



その他のアクティビティ

- 【大阪桜之宮 LC】 5月25日～27日の3日間、京橋駅前広場での献血者に対し記念品としてマスク1,400枚を寄贈。
- 【大阪港 LC】 献血アクティビティを地域7ヵ所で実施。
- 【大阪中部 LC】 大阪市児童院（聖家族の家）の職員方にマスク寄贈。
- 【大阪福島 LC】 5月14日、献血奉仕実施。
- 【大阪浪速 LC】 4月16日、医療用防護服95着寄贈。
- 【大阪西成 LC】 西成区内の各団体へアルコール除菌スプレー寄贈、献血アクティビティを西成区役所にて実施。
- 【岸和田千亀利 LC】 4月17日、岸和田市民病院への医療防護服の寄贈。
5月9日、東岸和田駅（土生公園）、5月23日、岸和田カンカン2ヵ所で献血活動実施。
- 【岸和田コスモス LC】 岸和田市民病院へマスク2,000枚寄贈、岸和田共同募金へ1万円寄付。
岸和田女子ソフトボールチームへ協賛5万円。
- 【泉佐野中央 LC】 姉妹提携クラブ台中 LC より布製マスク430枚、非接触型体温計6台をご寄贈頂き、近隣市町へ寄贈。
4月25日、献血活動を実施し、コロナ禍に例年を上回る受付数となり、大勢の皆さんにご協力を頂いた。

クラブ例会

大阪ゆとり LC

大阪ゆとりLCは例会等の新型コロナウイルス対策としてZoomにて理事会を行いました。「画面共有」にて議題もすぐに共有でき、自宅や会社から参加するメンバーや、遠方からも参加できるため、非常に便利でした。オンライン上ですが、メンバー同士久しぶりに会うことができ、「コロナに負けず、みんなで頑張っていこう!」と、クラブの団結を再確認する場となりました。

今後も、例会に参加できないメンバーをオンラインでつなぎ、通常例会とオンライン例会を同時開催する予定です。

大阪はなみずき LC

大阪はなみずきLCは、例会等の新型コロナウイルス対策として、3月は書面例会を1回、書面理事会を3回とメールで行いました。しかし、なかなか顔を合わせる機会もないことから、4月はZoom例会を開催しました。初めてのことなので事前にZoomの説明書をメールで送り、各自準備してもらいました。出席率は63%でしたが、顔を見ながら直接話をすることができ、有意義であったと思います。平常に戻っても、年に何度かリモート例会で例会費を抑えたり、例会に来られない方はリモート出席で参加するなど色々活用できると感じました。



大阪桜之宮 LC

大阪桜之宮LCは、4月28日(14日と合同)、5月12日・26日の3日間にZOOM例会を実施しました。12日は田中地区ガバナーや中谷地区ガバナーエレクト、他クラブのメンバーも多数参加して頂き、スムーズに開催することが出来ました。



泉大津 LC

新型コロナウイルス感染防止による自粛中においては、人が集まった通常の例会を中止にし、FAXやメール等で書面を送受信する方法での開催形式を採用しました。委員会についても同様です。

理事会については、消毒液を設置し、ソーシャルディスタンスを意識して座席を配置した上で、マスク着用を義務づけて開催しています。6月以降の例会、入会式についても同様の措置を施した上で開催する予定です。

和歌山ゴールド LC

和歌山ゴールドLCは、4月の第2例会、5月の例会は中止にしましたが、3月の例会からZOOMを使って行っています。ZOOMを使えないメンバーは、例会場に設置したノートパソコンを使用し密にならずそれぞれ離れていても、みな顔が見える例会が出来ました。4月の入会式も例会同様、ZOOMです。3月、4月の理事会も例会と同じ方法でZOOMを使い行いました。5月の理事会は、緊急事態宣言が出ていた事もありZOOMではなく、理事の「グループLINE」に議題を書面で出し、承認を得ました。



堺登美丘 LC

本年度、堺登美丘 LC は地区ガバナーズリジョンであり、地区ガバナー方針の会員増強に力を入れて、上半期で 6 名の入会と入会希望者 2 名の面談予定まで進んでいました。2 月の第 2 例会では 3 月のダナン海外例会の説明まで進んでいたのですが、急転新型コロナウイルス感染拡大により中止の判断をし、地区ガバナー訪問例会、指名例会、選挙例会、合同例会、年次大会中止など、ギリギリまで待って状況を確認し中止という苦汁の判断になりました。

5 月の理事会は、何度か練習をして Zoom で行いました。この状況で入会希望者に待つ頂くのは心苦しいと感じ 5 月第 1 例会は Zoom 例会にし、事務局で入会式を行うことにしました。中々 Zoom の使い方が分からないメンバーには、若いメンバーに教えに行っていました。

5 月第 2 例会はソーシャルディスタンスに努め通常例会を行いましたが、メンバーの顔を見て出来る例会がこんなに楽しいのかと改めて感じました。

下半期のアクティビティは、新型コロナウイルス感染症の中で考えて、花粉症・喘息缶バッチ配布、献血不足 5 月に 5 回献血奉仕、花いっぱいプロジェクト学校・園にプランター配布など、ライオンズクラブとして出来る事を行いました。

少しでも早く新型コロナウイルスが終息し、みんなでライオンズライフを楽しみたいです。



その他のクラブ例会

★ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛の中、例会や入会式について ZOOM や書面等工夫していること

- 【大阪東淀LC】 例会を文書例会に変更。
- 【大阪港LC】 理事会は書面にて開催。
- 【大阪中部LC】 3月～5月はメール、Faxにて例会振り替え、6月より通常例会を開催。
- 【大阪福島LC】 4月～6月第1例会はメール、Faxにて振り替え・CN・入会式は次年度に順延。
- 【大阪戎橋いとはんLC】 5月はLINE・Faxにて例会開催。
- 【堺LC】 例会はメールにて書面例会とし、理事会に関しましてはLINEでグループ通話会議とした。
4月入会者に関しましては、自粛解除明けの例会にて、入会式を行う。
- 【岸和田LC】 試験的ではありますが、ZOOMを使つての理事会を開催し、事業についての意見交換を実施。
入会式は、事務局でソーシャルディスタンスを考慮し、少人数で開催しました。6月より、通常に開催。
- 【貝塚LC】 理事会4・5月は持回り理事会(FAX)で実施。
- 【岸和田中央LC】 例会は3～5月は月2回の書面で実施。
- 【岸和田千亀利LC】 クラブ運営、事業等の案件については、三役が理事会を開催するなど3密を守り、
例会を行わず、書面送付し、情報の提供、書面表決、そして次期につなげる。
- 【岸和田コスモスLC】 グループLine・FAX等により連絡し、意見交換実施。
- 【泉佐野中央LC】 理事会・例会はFAX・LINEを通して書面決議を実施。
- 【岬LC】 理事会・例会はFAXを通して書面決議を実施。
- 【有田LC】 2月第2例会から6月第1例会まで集会例会中止のため、例会の代わりに、FAXまたはメールで議事連絡事項等を送付し、検討、意見等があれば会長・幹事まで連絡を頂くようにした。
- 【八尾LC】 理事会について次第・資料をメールまたは郵送にて書面決議を実施。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2 m(最低1 m) 空ける。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)。
※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に) 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



編集後記

地区 MC・IT 委員 花井 和延

今年度、MC・IT 委員会に所属させて頂きいろんな経験をさせて頂きました。年度後半には新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令により、ライオンズクラブの様々な事業が中止されました。

また、テレワーク等の導入を始め新しい生活様式、社会構造が見直されるようになってきました。ライオンズクラブもこのような環境の変化に順応し次年度以降、ウェブ会議の導入等、ますます IT 化を推進していかなければなりません。MC・IT 委員会の役割もより一層大きなものになっていくと思います。

最後に、新型コロナウイルスが1日も早く収束する事を願いお礼の言葉とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

発行者：地区ガバナー 田中 敏朗

発行：ライオンズクラブ国際協会

335-B 地区 MC・IT 委員会

編集者：委員長/渡邊 千芳

委員/福吉 淳央・西田 民子・中堂 真理子・新田 秀幸

道廣 修二・田中 雅之・西谷 昌幸・明貝 一平

千丸 剛央・堀 周雄・池田 和弘・花井 和延

事務局：〒541-0048 大阪市中央区瓦町 4-4-8 瓦町 4 丁目ビル 2F

TEL:06-6222-7331 FAX:06-6222-7336

ホームページ：<http://www.lc335b.gr.jp/>